

クラウド総合水管理システム「やくも水神」

小松電機産業

現場計測データをリアルタイム表示

クラウド総合水管理システム「やくも水神」は、平成12年9月、インターネットやイーモードに対応した新水神ネットワークとして、下水道のマシンホールポンプ制御盤において全国展開を開始して以来、水道や消融雪、ゲート、水位流量観測などの各施設の計測データなどの遠隔監視や広域・エリア管理について、業界を先導してきた。

また、「やくも水神」採用の自治体の声を契機とし、データセンタの二重化とともに、スマートフォン・タブレット端末

などへの対応を重ね、クラウド総合水管理システムに成長した。今年10月末時点で全国470自治体、1万3000施設に導入されており、上下水道施設のIT化を通じ、施設管理の効率化による持続可能な水管理を目指し、知恵と技術を融合した水管理時代のコミュニティネットワークを創造している。

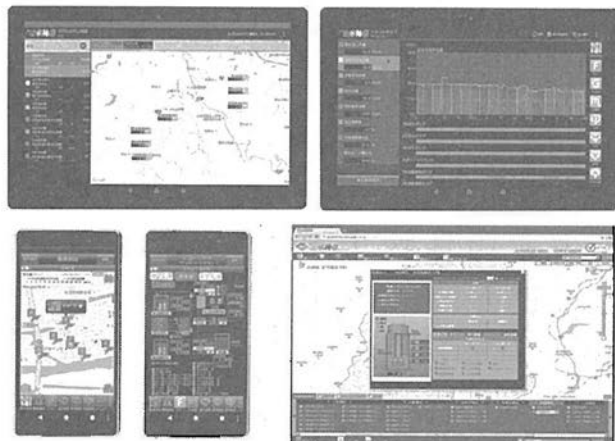
同社は、現場施設の計測データ結果をクラウドにより、リアルタイムで情報管理できる「クラウド型リアルタイム表示」(特許第6527660号)を開発

し、公益社団法人発明協会主催の令和2年度中国地方発明表彰で、中国経済産業局長賞を受賞した。従来なかった新たなマーケティングを創造して、

「水の広域総合水管理システム」のパイオニアとして確立し、システムの利用幅が広がり、普及が

理も実現したとしている。

「クラウド型リアルタイム表示」は、国・県・市・町が一体となって取り組んできた、日本最大級の国営九頭竜川下流域農業用水パイプライン事業(国営・県営事業の総事業費約2000億円)で、全面的に採用され、省庁間をまたぐ水のクロスオーバー管理も実現したとしている。



スマートフォンなどで快適管理